

質問

介護の現状把握と改善を

町長

積極的に関与して改善を支援



内田 雅人 議員

質問 今の介護の状況は長期入所、短期入所とも受け入れ先が不足しており、さらに4月からあいサンホームは、短期専用の6床と地域密着型特養の20床が休止される。

要因は職員の不足ということでは問題だ。根本的な理由を把握し、改善していくことが求められる。

町長 業務の負担軽減や職員間のコミュニケーション向上など、他の施設の良い例を情報提供し、共有する。

町も積極的に関与して、職場環境改善を支援していく。

質問 老健は定員が29床以下になるが、今後は施設的に許容量のある、あいサンホームの事業の安定

化が必要ではないか。

町長 今後仁多福祉会と円滑に協議を進め、老健を縮小する中で職員の適正配置をはかり、あいサンホームを早期に安定的に運営できるように、町としても一体となって取り組んでいきたい。

質問 横田高校、島根リハビリテーション学院、島根デザイン専門学校は貴重な地域資源だ。それぞれ地域の課題解決を図る学習を行っている。学生たちは考えている。もっと連携を強めて、生かしていく仕組みができるのではないか。

町長 様々な方が学生たちの声に耳を傾け、活動の輪を広げ、町政に反映することは重要だ。

来年度から、学生たちのアイデアを実現する新たな試みの一つとして、未来へ輝け！まちづくりチャレンジ事業にも取り組む。

学生たちのアイデアを生かそう

J-クレジット制度を活用した戦略を

質問 国のJ-クレジット制度を活用し、CO2の吸収量の売却益や設備のコスト削減をはかり、地球温暖化対策への貢献を進める戦略を立てるべきだ。

り組んでいきたい。CO2の吸収量は相当あるはずで、売却益などのメリットはあると考える。



旧仁多病院の部分が解体され、縮小される介護老人保健施設

町長 地球温暖化対策実行計画で吸収量算定を行い、J-クレジットの導入に取



町有林のCO2吸収量を生かした戦略を